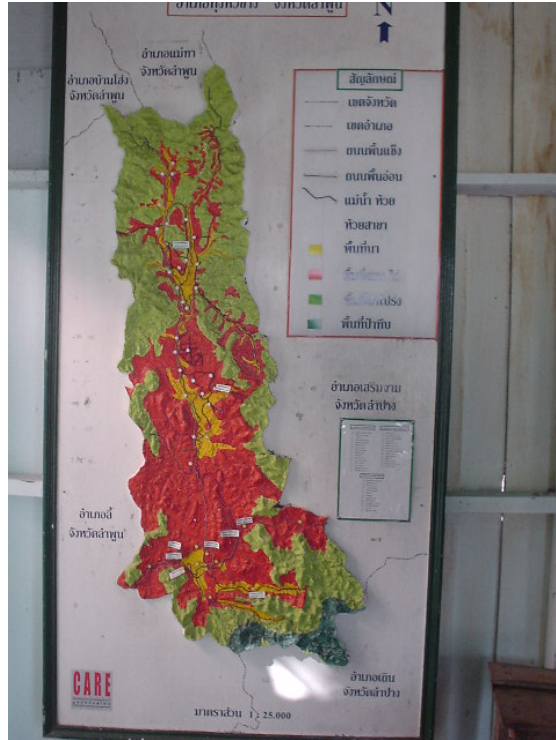


ランブーン県トゥンホアチャン郡

■ 活動地域



ノンコック環境センター

■ 地元の小学生を対象に、環境に対する意識を高めるため、環境クラブ活動を実施



左：付近の山を散策 中・右：センターに戻り、見て感じたものを絵に描く



上・右:中学生で結成するユースグループは、自然のろうそく作りを体験



バーンロー村

■ 女子グループの活動:透かし葉っぱづくり



沙羅双樹の葉を煮て、



歯ブラシでこする。



そうすると、葉脈だけが残り、透き通った葉っぱになる。



それに色をつけて、



乾かすと出来上がり。



しおりにしようかな。

■ 男子グループの活動



緑豊かな美しい庭



枯れ果てた大地



左: 男子グループメンバー。この2つのジオラマの対比で、木の大切さを表現している。

ホワイホーン村



環境をテーマとした絵



サーフィンする地球？！



ドンムーン小学校



ドンムーン小学校

植物の名称と利用方法が書かれた札



日曜日にも関わらず、植物や魚の世話に来ていた熱心な先生

池。なまず、どじょう、カエルを飼っている。

用法が書かれているアロエの札

ホアイホーム小学校 (ランブーン県メーテー郡)

- 民族:カレン・ポー
- 宗教:仏教

タワチャイ校長は、ホアイホームのあるターメーロック地区にある5つの学校の校長を兼任している。普段は、幹線通り沿いにあるポムメーロップ学校で執務をしている。

ターメーロック地区には、クーコン、ホアイヒア、バンボン、ポムメーロップ、ホアイホームの5つの学校、総勢503人の小中学生がいる。うち、ポムメーロップが幼稚園から小学校、中学校までである以外、他の学校は幼稚園と小学校のみである。

5校のうち、ホアイヒア、クーコン、ホアイホームが、活動対象校。

ホアイヒア...生徒数 40名、先生3人。

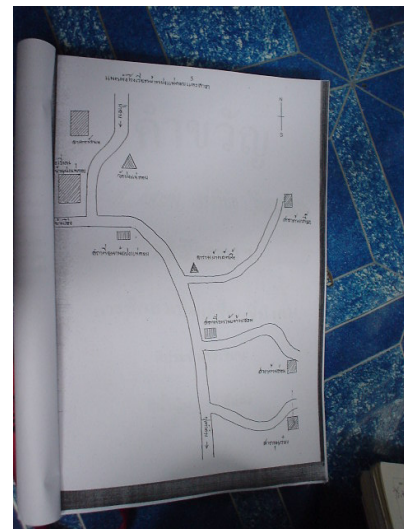
クーコン.....生徒数 64名、先生4人。

ホアイホーム...生徒数 115名、先生5人。

三校のある地区は、24年前から保護林に指定され、村人は開発はもちろん、Community Forestとしての活用もできず、生活レベル向上の手段が限られている。15歳以上の人は推定で90%以上が出稼ぎに出ている。

それぞれの村に森林保護委員会を設置し、3つの村にそのネットワークを作り、森の共同管理をしている。

環境の状況を見て、三年ごとに焼畑をして耕地を使いまわすなど、対策をとっている。森林局の役員がそれを監査しに来る。



上: タワチャイ校長先生管轄の小中学校



左: 子供たちはこの村から学校に通う

右: 幹線道路から道なき道を3.5キロ行った山の中にホアイホーム小学校はある。





体に合わない制服を着ている子どもが多い



カレン・ポー族の村人

カレン・スコーとカレン・ポー

カレン族の中でも、カレン・スコーとカレン・ポーの二派がある。

スコー：メーホンソンを通過してメーチェムなど北部に移住してきた一派

文字を持つが、ポーの言語を介さない

キリスト教

ポー：タク県などを通過してランブーンなど南部に住み着いた一派

文字を持たない スコーの言語を介する

仏教

より保守的な性質を持つ